

科目名	学科	学年	単位	教科書（発行者）	副教材等
音楽 I	国際交流科	1	2	MOUSA 1 (教育芸術社)	

科目の到達目標	音楽の幅広い学習活動を通して、音楽を愛好する心情や協調性を育てるとともに、アンサンブルの楽しさを味わう。また創造性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばす。
---------	---

学期	月	単元・題材	学習項目	学習のねらい（到達目標）
一	4	【表現】 歌唱表現 齊唱 独唱 合唱	校歌、ひまわりの約束、ふるさと 少年時代、富山県民の歌	歌詞に注意し、はっきりと発音する。 伝える気持ちを大切に楽しみながら歌う。 イタリア語、ドイツ語の歌曲に親しむ。 実技テスト実施、音楽的な表現力 三部合唱のハーモニーを味わう。
	5		花、見上げてごらん夜の星を 故郷、翼をください、ふるさとの空 カロミオベン 野ばら 遠い日の歌	
	6	記譜	記譜の基本	
	7	音楽史	中世、ルネサンス、バロック	
二	9	身体を使った表現	ボイスパーカッション 手話コーラス ボディパーカッション	3人1組になってボディパーカッションのアンサンブルを表現(グループ発表)する。 総合芸術を味わう。
	10	鑑賞	オペラまたはミュージカル	
	11	音楽史	古典派、ロマン派	
	12	アンサンブル	グループ演奏	
三	1	創作と表現	グループによる自由演奏	グループ内での協調性、リーダーシップ、創造性、創造力、アレンジ力など
	2		創作（編曲）、練習、発表	
	3			

評価の 観点・ 評価の 方法	◎評価の観点			
	関心・意欲・態度	芸術的な感受性や表現の工夫	創造的な表現の技能	鑑賞の能力
	芸術を愛好し、芸術文化を尊重するとともに、個性を生かして意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを味わおうとする。	芸術のよさや美しさを感じ取り創造的に表現を工夫する。	創造的な芸術表現をするために必要な技能を身に付けている。	芸術を幅広く理解し、そのよさや美しさを楽しむ。
◎評価の方法				
毎時間の授業の活動の様子、実技テスト、筆記テスト、鑑賞の記録などにより評価する。				